

# 最上クワースロード

国道47号 新庄古口道路通信

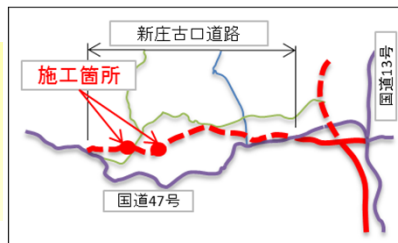
第5号 平成26年7月

## ★ 工事の紹介 その4 ★

(平成25年度 施工工事の紹介)

### 蔵岡地区道路改良工事(新庄古口道路)

- 受注者 株式会社 柿崎工務所
- 工期 平成25年2月26日～平成26年 3月31日
- 施工箇所 戸沢村大字津谷地内
- 工事の内容 掘削工V=49,700m<sup>3</sup>、路体盛土工V=49,000m<sup>3</sup>、カルバート工2基、排水構造物工1式



スパイラルカット型  
スーパーミキシング工法



先端が回転し、地中内でかき混ぜることが出来るため、周囲へ飛散しない。

### 【工事のポイント】

本工事は、山を掘削してその土砂を盛土して道路を作る工事でした。しかし、掘削した土砂は水分が多く粘土質のためそのままでは盛土に利用出来ませんでした。

盛土に利用するため、土砂にセメントの粉を振りかけ、かき混ぜて盛土を行う工法を採用することにしましたが、周囲には森林や田圃、精密部品の工場が有り、セメントの粉が飛び散って植物や工場に影響が出ないようにする必要があります。そのため飛び散りにくい専用のセメントを使用し、さらにかき混ぜる方法も「スーパーミキシングマシン」という特殊な機械を使用し、周囲へ影響が生じないように慎重に施工を行いました。

### 【セメント改良施工フロー】



**防塵型固化材投入**  
(通常セメントに比べ粉塵がほとんど出ません)



**固化材敷均し**  
(添加量 40kg/m<sup>3</sup>とし、バックホウにて均一に敷均します)



**固化材攪拌**  
(スーパーミキシングマシンにより上から下方向へかき混ぜを行い、固化材により土砂の改良を行います)



**改良土の運搬**  
(ダンプトラックにより盛土箇所へ運搬します)



**敷均し転圧**  
(ブルドーザにより敷均し、転圧を行い、完了です)

本工事は、切土(土砂)をセメント改良し盛土材料とするものであり、セメント攪拌箇所は、精密部品製造工場や田圃・畑地が近接する箇所であるため、通常のセメントで施工した場合、セメントの発塵による影響が懸念されました。

このため、対応策として飛び散りにくい専用のセメントを使用し、近接する工場や田圃等に影響が生じないよう慎重に土質改良を行い、道路の盛土材として施工を行いました。

工事が長期化し、ご迷惑をお掛けしましたが、皆様のご理解とご協力に、御礼申し上げます。

### <ご意見・お問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所 新庄監督官室  
〒996-0041 山形県新庄市大字鳥越字舟田608-2番地  
(新庄国道維持出張所内)

TEL: 0233(22)1731 FAX: 0233(22)1731  
(新庄国道維持出張所HP)

<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syuchu/shiniji/index.html>